

**IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE**

Applicant: Kazumasa AZUMA et al.

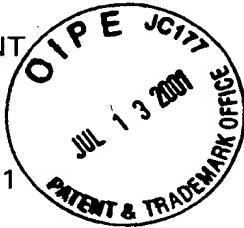
Title: ATM EQUIPMENT

Appl. No.: 09/777,928

Filing Date: February 7, 2001

Examiner: Unassigned

Art Unit: Unassigned



**CLAIM FOR CONVENTION PRIORITY**

Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested, and the right of priority provided in 35 U.S.C. § 119 is hereby claimed.

In support of this claim, filed herewith is a certified copy of said original foreign application:

- Japanese Patent Application No. 2000-031708 filed February 9, 2000

Respectfully submitted,

Date JUL 13 2001

By Richard L. Schwaab

FOLEY & LARDNER  
Washington Harbour  
3000 K Street, N.W., Suite 500  
Washington, D.C. 20007-5109  
Telephone: (202) 672-5414  
Facsimile: (202) 672-5399

Richard L. Schwaab  
Attorney for Applicant  
Registration No. 25,479



## 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application:

2000年 2月 9日

出願番号  
Application Number:

特願2000-031708

出願人  
Applicant(s):

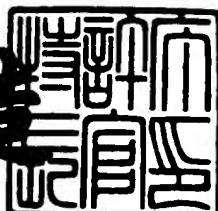
株式会社日立テレコムテクノロジー

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 2月 23日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 100024

【提出日】 平成12年 2月 9日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04L 29/00

【発明者】

【住所又は居所】 福島県郡山市字船場向94番地 株式会社日立テレコム  
テクノロジー内

【氏名】 吾妻 一正

【発明者】

【住所又は居所】 福島県郡山市字船場向94番地 株式会社日立テレコム  
テクノロジー内

【氏名】 遠藤 信行

【発明者】

【住所又は居所】 福島県郡山市字船場向94番地 株式会社日立テレコム  
テクノロジー内

【氏名】 武田 信勝

【特許出願人】

【識別番号】 000153465

【住所又は居所】 福島県郡山市字船場向94番地

【氏名又は名称】 株式会社日立テレコムテクノロジー

【代表者】 川本 幸雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 017215

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

特2000-031708

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 ATM装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 音声系装置を接続する音声回線インターフェース手段と、ATM回線を接続する中継回線インターフェース手段と、前記音声回線インターフェース手段からの音声信号をセル化し、これを前記中継回線インターフェース手段に転送し、かつ、当該中継回線インターフェース手段から受けたセルをデセル化して、これを前記音声回線インターフェース手段に送出するセル化／デセル化手段と、スイッチ型バーチャル・コネクション接続方式によって、前記ATM回線における通話路の接続／切断制御を行う接続制御手段とを具備するATM装置において、

前記接続制御手段が前記ATM回線における通話路の接続制御を行う場合であって、音声系装置を呼び出し状態にしたとき、前記中継回線インターフェース手段と前記音声回線インターフェース手段とを接続状態にする通話接続手段を備え、

前記セル化／デセル化手段は、前記通話接続手段が中継回線インターフェース手段と前記音声回線インターフェース手段とを接続状態にしたとき、前記中継回線インターフェース手段が受信したセルをデセル化して音声信号とし、これを前記音声回線インターフェース手段に送出することを特徴とするATM装置。

【請求項2】 前記通話接続手段は、前記スイッチ型バーチャル・コネクション接続方式の接続プロトコルにおける呼出中メッセージを送出した際に、前記中継回線インターフェース手段と前記音声回線インターフェース手段とを接続状態にすることを特徴とする請求項1記載のATM装置。

【請求項3】 前記通話接続手段は、前記スイッチ型バーチャル・コネクション接続方式の接続プロトコルにおける呼出中メッセージを受信した際に、前記中継回線インターフェース手段と前記音声回線インターフェース手段とを接続状態にすることを特徴とする請求項1記載のATM装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ATM回線を介してATM網に接続されるATM装置に関し、特に

、電話交換機、音声端末装置をスイッチ型バーチャル・コネクションの接続方式（以下「SVC接続方式」という）によって、通話路の接続／切断制御を行い、必要時に任意の帯域を確保して未使用帯域を有効に活用し、回線の使用効率を向上させるATM装置に関する。

#### 【0002】

##### 【従来の技術】

ATMフォーラムにおいてユーザー・ネットワーク間インターフェース4.0（以下「UNI4.0」という）が定められており、このUNI4.0に準拠したATMプロトコルを用いてSVC接続方式を実現している。

#### 【0003】

##### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、このUNI4.0に準拠したSVC接続方式は、データ通信に対応したシグナリング制御を主たる目的として規定しているため、これを音声通信に用いた場合には、その呼設定におけるシグナリング制御過程における可聴信号の送出において不具合が生じていた。

#### 【0004】

本発明の目的は、音声通信のシグナリング制御時に必要な、電話交換機又は音声端末装置のインターネットにおける接続制御に関し、発信してから通話状態に至るまでの過程において、相手先の電話交換機又は音声端末装置から送出される呼出し中信号（リングバック・トーン：以下「RBT」という）、ビジー信号（ビジー・トーン：以下「BT」という）、アナウンス信号、その他の可聴信号を、良好に発信者に送出することができるATM装置を提供することにある。

#### 【0005】

##### 【課題を解決するための手段】

本発明は、音声系装置を接続する音声回線インターフェース手段と、ATM回線を接続する中継回線インターフェース手段と、前記音声回線インターフェース手段からの音声信号をセル化し、これを前記中継回線インターフェース手段に転送し、かつ、当該中継回線インターフェース手段から受けたセルをデセル化して、これを前記音声回線インターフェース手段に送出するセル化／デセル化手段と、スイッチ型

バーチャル・コネクション接続方式によって、前記ATM回線における通話路の接続／切断制御を行う接続制御手段とを具備するATM装置において、前記接続制御手段が前記ATM回線における通話路の接続制御を行う場合であって、音声系装置を呼び出し状態にしたとき、前記中継回線インターフェース手段と前記音声回線インターフェース手段とを接続状態にする通話接続手段を備え、前記セル化／デセル化手段は、前記通話接続手段が中継回線インターフェース手段と前記音声回線インターフェース手段とを接続状態にしたとき、前記中継回線インターフェース手段が受信したセルをデセル化して音声信号とし、これを前記音声回線インターフェース手段に送出することを特徴とする。

#### 【0006】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を図面を参照して詳細に説明する。

#### 【0007】

図1は、本発明の実施の形態を示す通信システムの構成図である。図1において、この通信システムは、一つ又は複数の電話交換機10又は／及び音声端末装置20を収容する複数のATM装置30を、ATM回線50を介してATM網40に接続した構成となっている。

#### 【0008】

ここで、ATM装置30は、電話交換機10又は／及び音声端末装置20からの呼設定信号、音声情報を受信し、これにATM装置30で接続に必要な番号情報を附加してATMセル化し、このATMセル（以下「セル」という）をATM網40に送信し、また、ATM網40からのセルをデセル化すると共に、このセルによって転送されてきた呼設定信号及び音声情報を、電話交換機10又は／及び音声端末装置20に分配送信するものである。

#### 【0009】

ATM網40とATM装置30との間のインターフェースは、ATM網に従ったユーザー・ネットワーク間インターフェースであり、その音声シグナリング方式はUNI4.0に準拠したシグナリング制御（呼設定プロトコル）に従って呼の接続制御が行われ、ATM装置30は、通話路をATM網40側の回線に割り当て

る。そして、割り当てられた通話路を用い、ATM網40を介してATM装置30対向で通信することが可能となる。

#### 【0010】

なお、電話交換機10又は／及び音声端末装置20とATM装置30との間のインターフェースは、ITU-Tによって規定されているISDNの基本インターフェース又は1.544Mb/s若しくは2.048Mb/sの一次群インターフェース等のデジタルインターフェース、又は、2線のループ・ダイヤル(LD)方式若しくは4線のアウトバンド・ダイヤル(OD)方式のアナログインターフェースのいずれであってもよい。以下の説明においては、電話交換機10又は／及び音声端末装置20とATM装置30との間のインターフェースがアウトバンド・ダイヤル(OD)方式のアナログインターフェースであることを例にして説明する。

#### 【0011】

図2は、本発明のATM装置の構成を示すブロック図である。

#### 【0012】

図2において、ATM装置30は、前記ISDNの基本インターフェース又は1.544Mb/s若しくは2.048Mb/sの一次群インターフェース等のデジタルインターフェース、又は、2線のループ・ダイヤル(LD)方式若しくは4線のアウトバンド・ダイヤル(OD)方式のアナログインターフェースのいずれかで電話交換機10又は／及び音声端末装置20とのインターフェースをとる音声回線インターフェース部310と、ATM網40に従ったインターフェース方式で、ATM回線50を介し当該ATM網40とのインターフェースをとる中継回線インターフェース部320と、音声回線インターフェース部310と中継回線インターフェース部320とを接続し、これらの間で自在にセルを送受信させるATMバス330と、ATM装置30の全体を制御する主制御部340と、主制御部340に接続され、この主制御部340が制御動作を行うための処理プログラム、通信動作に必要な構成情報又はその他の制御データを格納するメモリ部350と、音声回線インターフェース部310が発信要求信号を受信し、当該音声回線インターフェース部310から該発信要求信号に対応する発信要求情報を受信した場合に、これをATM網40上のプロトコルに適応したシグナリング用のメッセージ情報に変換

するSVC制御部360と、SVC制御部360からそのメッセージ情報を受信すると、これをATMアダプション・レイヤのタイプ5（以下「AAL5」という）のフォーマットにセル化して、これをATMバス330を介して対応する中継回線インターフェース部320に送出するSAR制御部370とから構成されている。

## 【0013】

音声回線インターフェース部310は、電話交換機10又は／及び音声端末装置20とのインターフェースをとる回線インターフェース部311と、ATMバス330とのインターフェースをとるATMバスインターフェース部312と、回線インターフェース部311からの音声信号をセル化してATMバスインターフェース部312に送出し、また、ATMインターフェース部312からのセル化されている音声信号をデセル化して回線インターフェース部311に送出するセル組立分解部313と、主制御部340の制御下において音声回線インターフェース部310の全体を制御する音声回線制御部314とを有している。なお、回線インターフェース部311は、SVC制御部360に接続されており、電話交換機10又は／及び音声端末装置20から発信要求信号を受信した場合に、この発信要求信号に対応する発信要求情報をSVC制御部360に送出するように構成されている。

## 【0014】

また、中継回線インターフェース部320は、ATMバス330とのインターフェースをとるATMバスインターフェース部321と、ATM網40とのインターフェースをとり、ATMバスインターフェース部321が受信したセルをATM網40に転送し、また、ATM網40から受信したセルをATMバスインターフェース部321に送出する回線インターフェース部322と、主制御部340の制御下において中継回線インターフェース部320の全体を制御する中継回線制御部323とを有している。なお、中継回線制御部323は、主制御部340から構成情報から配信されており、回線インターフェース部322は、ATMバスインターフェース部321がATMバス330を介してSAR制御部370から受信したセルを、その構成情報に含まれているセル多重化情報に従い、シグナリング用（呼設定用）の通話路（パス）を介してATM網40に送出する。

## 【0015】

以下、このようなATM装置30の動作について、図1のATM装置Aに接続した電話交換機A（以下「PBX-A」という）からATM装置Bに接続した電話交換機B（以下「PBX-B」という）に発呼した場合を例にして説明する。

## 【0016】

図3は、この場合の接続シーケンス図である。なお、図4及び図5は、図3に示すシーケンス図において、ATM装置A又はATM装置BとATM網40との間でやりとりされるメッセージの内容（情報要素）を示す図である。

## 【0017】

図3において、まず、PBX-Aが発信要求を行い、ATM装置Aが発信要求信号とダイヤル信号とを受けると（S301、S302）、ATM装置Aは、これを音声回線インターフェース部310で検出し、SVC制御部360に発信要求情報として通知する。そうすると、SVC制御部360では、これをATM網40上のプロトコルに適応したシグナリング用の着番号にダイヤル信号に応じた情報を格納した、図4の（1）に示すプロトコル識別子、呼番号、メッセージ種別、メッセージ長、ALLパラメータ、ALLトラヒック記述子、広帯域伝送能力、着番号、着サブアドレス、コネクション識別子及びQoSパラメータの情報要素から成る呼設定メッセージ（SETUP）に変換し、セル化制御を行うSAR制御部370へメッセージとして送信する。

## 【0018】

SAR制御部370では受信したメッセージをAAL5にセル化してATMバス330へ送出し、これを対応する中継回線インターフェース部320が受け取る。すると、中継回線インターフェース部320は、SAR制御部370から受信したそのセルを、主制御部340から配布されてた構成情報に含まれるセル多重化情報に従ってセル多重化し、これをシグナリング用の通話路を介してATM網40に呼設定メッセージ（SETUP）として送出する（S303）。この際、呼設定メッセージ（SETUP）にはPBX-Bを示すアドレス情報の他、情報転送能力やユーザー速度などの情報を含める。

## 【0019】

これを受けたATM網40は、図4の(2)に示すプロトコル識別子、呼番号、メッセージ種別、メッセージ長及びコネクション識別子から成る呼設定受付メッセージ(CALLPROC)をATM装置Aに返信し(S304)、これと共に、呼設定メッセージをATM装置Bに送出する(S305)。

#### 【0020】

一方、ATM装置Bにおいて、中継回線インターフェース部320で受け取った呼設定メッセージ(SETUP)は、ATMバス330を介してSAR制御部370に転送され、ここでデセル化されて、SVC制御部360に送出される。SVC制御部360は、これを受け取ると、これに含まれる情報要素によって整合性の確認を行うなど、UNI4.0に準拠したプロトコルに応じて処理し、呼設定受付メッセージ(CALLPROC)をSAR制御部370に送信する。

#### 【0021】

すると、SAR制御部370は、受信したメッセージをAAL5にセル化してATMバス330へ送出し、これを対応する中継回線インターフェース部320が受け取る。すると、中継回線インターフェース部320は、SAR制御部370から受信したセルをセル多重化して、これを呼設定受付メッセージ(CALLPR0C)としてシグナリング用の通話路を介してATM網40に送出する(S306)。また、主制御部340は、SVC制御部360から受け取った情報の内容を解析し、PBX-Bへの着信であることを認識して、対応する音声回線インターフェース部310に着信を通知する。これによって、音声回線インターフェース部310は自らが接続している回線への着信であることを認識して、PBX-Bに対しても着信信号を送出する(S307)。

#### 【0022】

このとき、ATM装置Bの主制御部340は、その呼設定受付メッセージ(CALLPROC)に含まれるコネクション識別子により、接続するパス情報を取得し、PBX-Bを接続する音声回線インターフェース部310と中継回線インターフェース部320とに通話に用いるパス設定の予約を行う。

#### 【0023】

また、ATM装置Bにおいて、PBX-Bに着信信号を送出し、ATM網40

に呼設定受付メッセージ(CALL PROC)を送出した後、SVC制御部360は、ATM網40に図4の(3)に示すプロトコル識別子、呼番号、メッセージ種別、メッセージ長、コネクション識別子及び経過識別子から成る呼出中メッセージ(ALERT)をSAR制御部360に送出する。すると、同様に、SAR制御部370は、受信したメッセージをAAL5にセル化してATMバス330へ送出し、これを呼出中メッセージ(ALERT)として、対応する中継回線インターフェース部320を介し、シグナリング用の通話路によってATM網40に送出する(S308)。

#### 【0024】

さらに、このとき、ATM装置Bの主制御部340は、その呼出中メッセージ(ALERT)に含まれる経過情報識別子により、先に予約した通話に用いるパス設定を行い、PBX-Bを接続する音声回線インターフェース部310と中継回線インターフェース部320とを接続し、音声信号を格納したセルをこれらの間で転送可能にする(S309)。

#### 【0025】

一方、ATM装置Aにおいて、中継回線インターフェース部320で受け取った呼設定受付メッセージ(CALL PROC)は、ATMバス330を介してSAR制御部370に転送され、ここでデセル化されて、SVC制御部360に送出される。SVC制御部360は、これを受け取ると、これに含まれる情報要素によって整合性の確認を行うなど、UNI4.0に準拠したプロトコルに応じて処理する。

#### 【0026】

このとき、ATM装置Aの主制御部340は、その呼設定受付メッセージ(CALL PROC)に含まれるコネクション識別子により、接続するパス情報を取得し、PBX-Aを接続する音声回線インターフェース部310と中継回線インターフェース部320とに通話に用いるパス設定の予約を行う。

#### 【0027】

この後、中継回線インターフェース部320が、ATM網40から呼出中メッセージ(ALERT)を受け取ると(S310)、これをATMバス330を介し

てSAR制御部370に転送し、ここでデセル化されて、SVC制御部360に送出される。すると、SVC制御部360は、同様に、UNI4.0に準拠したプロトコルに応じて処理する。

#### 【0028】

そして、このとき、ATM装置Aの主制御部340は、その呼出中メッセージ(ALERT)に含まれる経過情報識別子により、先に予約した通話に用いるバス設定を行い、PBX-Aを接続する音声回線インターフェース部310と中継回線インターフェース部320とを接続し、音声信号を格納したセルをこれらの間で転送可能にする(S311)。

#### 【0029】

このようにして、PBX-AとPBX-Bとの間で、音声信号の転送を可能にし、PBX-Bが送出するRBT又はBTをPBX-A(PBX-Aに接続された電話機など)で聴取可能にする(S312)。

#### 【0030】

すなわち、ATM装置Bにおいて、音声回線インターフェース部310がPBX-BからRBTを受信すると、これをセル組立分解部313で呼設定メッセージ(SETUP)で通知されたATM装置Aをヘッダとして付与したセルとして生成し、ATMバス330及び中継回線インターフェース部320を介してATM網40に転送する。一方、ATM装置Aにおいて、ATM網40から受信したそのセルを中継回線インターフェース部320及びATMバス330を介して音声回線インターフェース部310で受信すると、これをセル組立分解部313でデセル化し、RBTとしてPBX-Aに送出する。

#### 【0031】

この後、PBX-Bに接続された電話機などが着信に応答し、PBX-Bが応答信号を送出すると(S313)、ATM装置Bの音声回線インターフェース部320でこれを認識し、応答があったことをSVC制御部360に通知する。すると、SVC制御部360は、UNI4.0に準拠したプロトコルに応じて、図5の(1)に示すプロトコル識別子、呼番号、メッセージ種別、メッセージ長及びコネクション識別子から成る応答メッセージ(CONNECT)をSAR制御部

360に送出する。SAR制御部370は、受信したメッセージをAAL5にセル化してATMバス330へ送出し、これを応答メッセージ(CONNECT)として、対応する中継回線インターフェース部320を介し、シグナリング用の通話路によってATM網40に送出する(S314)。

#### 【0032】

これに対し、ATM網40は、図5の(2)に示すプロトコル識別子、呼番号、メッセージ種別及びメッセージ長から成る応答確認メッセージ(CONN-ACK)をATM装置Bに返信すると共に、応答メッセージ(CONNECT)をATM装置Aに送出する(S315)。

#### 【0033】

一方、ATM装置Aにおいて、中継回線インターフェース部320で受け取った応答メッセージ(CONNECT)は、ATMバス330を介してSAR制御部370に転送され、ここでデセル化されて、SVC制御部360に送出される。SVC制御部360は、これを受け取ると、これに含まれる情報要素によって整合性の確認を行うなど、UNI4.0に準拠したプロトコルに応じて処理し、応答確認メッセージ(CONN-ACK)をSAR制御部370に送信する。

#### 【0034】

すると、SAR制御部370は、受信したメッセージをAAL5にセル化してATMバス330へ送出し、これを対応する中継回線インターフェース部320が受け取る。中継回線インターフェース部320は、SAR制御部370から受信したセルをセル多重化して、これを応答確認メッセージ(CONN-ACK)としてシグナリング用の通話路を介してATM網40に送出する(S316)。また、主制御部340は、SVC制御部360から受け取った情報の内容を解析し、P BX-Aへの応答であることを認識して、対応する音声回線インターフェース部310に応答を通知する。これによって、音声回線インターフェース部310は自らが接続している回線への応答であることを認識して、P BX-Aに対して応答信号を送出する(S317)。

#### 【0035】

また、ATM装置Aは、該当するATM網40の回線を収容する中継回線イン

タフェース部320とP BX-Aを収容する音声回線インタフェース部310との間でATMバス330を介して通話に係るセルが送受信されるようにし、装置を通話中状態に移行する。

## 【0036】

ATM装置Bにおいて、ATM網40が応答確認メッセージ(CONN-ACK)を出し(S318)、中継回線インタフェース部320でこれを受け取ると、ATMバス330を介してSAR制御部370に転送され、ここでデセル化された後、SVC制御部360に送出される。そして、SVC制御部360は、これを受け取ると、これに含まれる情報要素によって整合性の確認を行うなど、UNI4.0に準拠したプロトコルに応じて処理する。また、主制御部340は、SVC制御部360から受け取った情報の内容を解析し、該当するATM網40の回線を収容する中継回線インタフェース部320とP BX-Aを収容する音声回線インタフェース部310との間でATMバス330を介して通話に係るセルが送受信されるようにし、自装置の状態を通話中状態に移行させる。

## 【0037】

以上によって、P BX-AとP BX-Bとの間で、ATM装置A、ATM網40及びATM装置Bを介して通話が可能な状態になる(S319)。

## 【0038】

さて、このように接続されたP BX-AとP BX-Bとの間で、所望の通話が終了したならば切断信号を送出することによって、呼を切断する。

## 【0039】

P BX-Aから切断する場合には、P BX-Aに収容された電話機がオンフックして切断すると、P BX-AはATM装置Aに対して切断信号を送出する(S320)。以降、順次、先に説明した呼設定メッセージ(SETUP)の送出と同様に、図5の(3)に示すプロトコル識別子、呼番号、メッセージ種別、メッセージ長及び理由表示から成る解放メッセージ(RELEASE)をATM網40、ATM装置Bと送出していく(S321、S322)。また、ATM装置Bは解放メッセージ(RELEASE)を受信すると、P BX-Bに対して解放信号を送出する(S323)。すると、P BX-Bは通話の切断を認識して、PB

X-Bが収容している通話中状態であった電話機にBTを送出するなどの切断処理を行う。また、解放メッセージ(RELEASE)を受け取ったATM網40及びATM装置Bは、自身が受信した解放メッセージ(RELEASE)の送出元に、図5の(4)に示すプロトコル識別子、呼番号、メッセージ種別、メッセージ長及び理由表示から成る解放完了メッセージ(RELEASE-COMP)を送出する(S324、S325)。

#### 【0040】

これで、PBX-AとPBX-Bとの間のSVC接続による通信は切断され、この通信に用いられていた通信路、各インターフェース部の資源は解放される。

#### 【0041】

##### 【発明の効果】

以上のとおり、本発明によれば、ATM網又はATM回線上における音声通信のシグナリング制御時に必要な、電話交換機又は音声端末装置のインターネットにおける接続制御に関し、発信してから通話状態に至るまでの過程において、相手先の電話交換機又は音声端末装置から送出される呼出し中信号、ビジー信号、アナウンス信号、その他の可聴信号を、極めて良好に発信者に送出することができる。

##### 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態を示す通信システムの構成図である。

【図2】 本発明のATM装置の構成を示すブロック図である。

【図3】 本発明の動作を説明する接続シーケンス図である。

【図4】 ATM装置とATM網との間でやりとりされるメッセージの内容(情報要素)を示す図である。

【図5】 ATM装置とATM網との間でやりとりされるメッセージの内容(情報要素)を示す図である。

##### 【符号の説明】

10 電話交換機

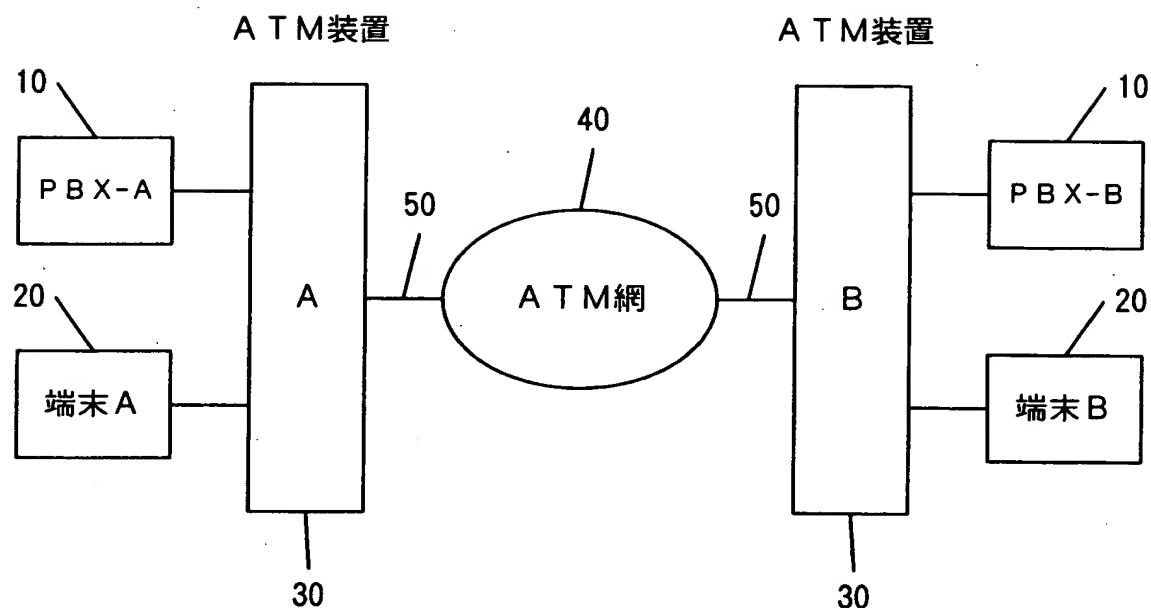
20 音声端末装置

30 ATM装置

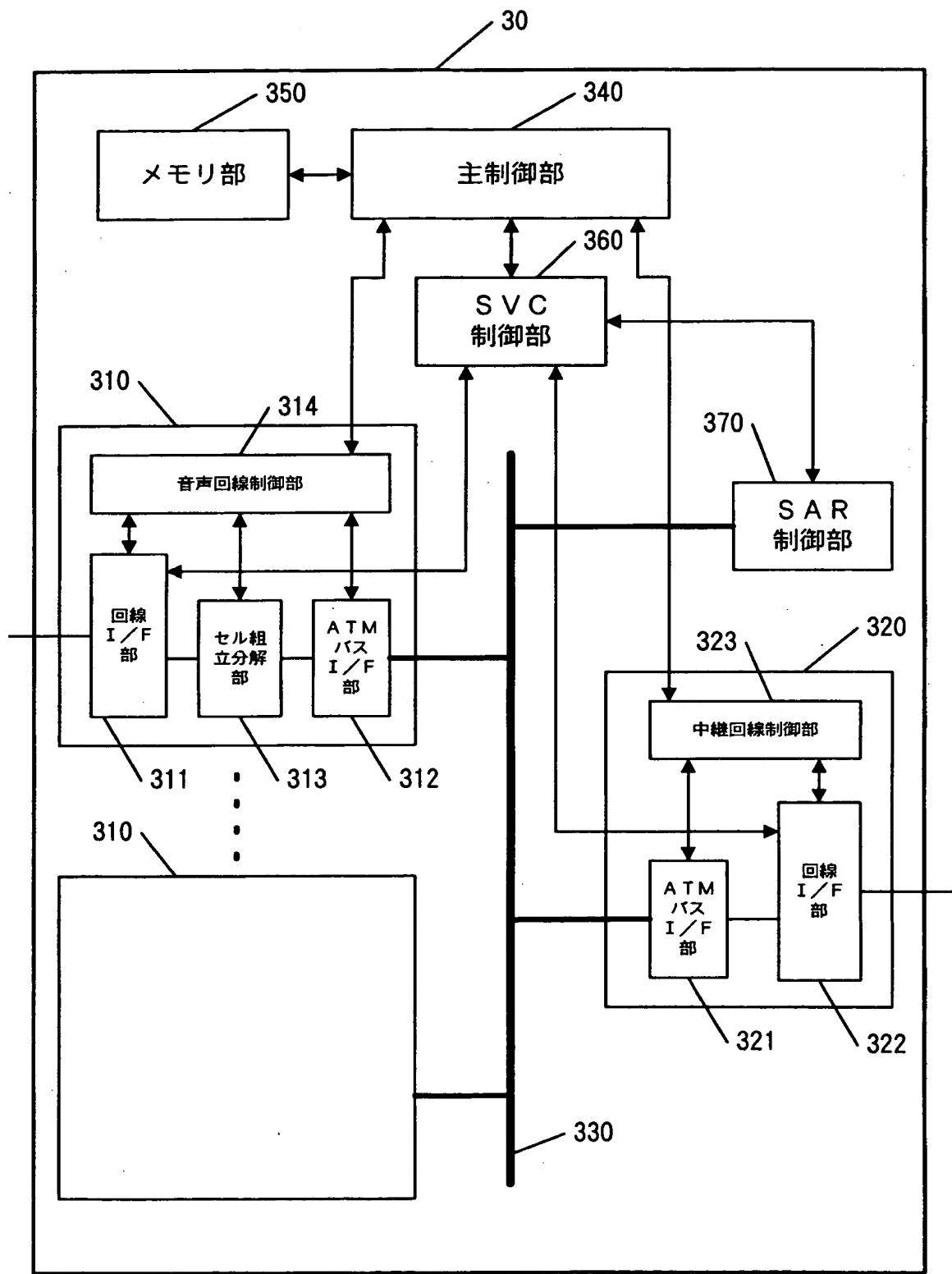
- 40 ATM網
- 310 音声回線インタフェース部
- 320 中継回線インタフェース部
- 330 ATMバス
- 340 主制御部
- 350 メモリ部
- 360 SVC制御部
- 370 SAR制御部

【書類名】 図面

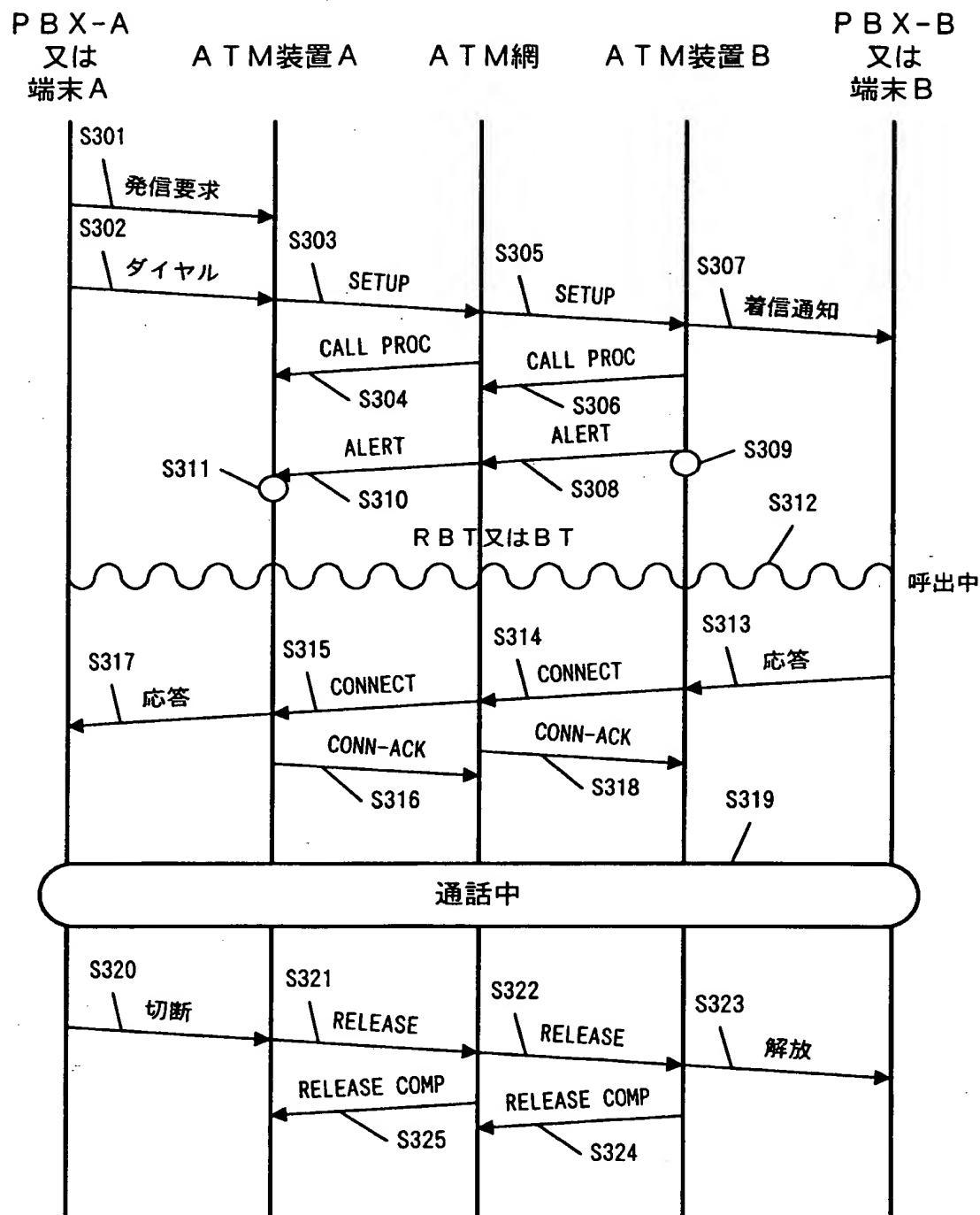
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

## SET UP

(1)

プロトコル識別子
呼番号
メッセージ種別
メッセージ長
AALパラメータ
AALトラヒック記述子
広帯域伝達能力
着番号
着サブアドレス
コネクション識別子
QoSパラメータ

## CALLPROC

(2)

プロトコル識別子
呼番号
メッセージ種別
メッセージ長
コネクション識別子

## ALERT

(3)

プロトコル識別子
呼番号
メッセージ種別
メッセージ長
コネクション識別子
経過識別子

【図5】

## CONNECT

(1)

プロトコル識別子
呼番号
メッセージ種別
メッセージ長
コネクション識別子

## CONN-ACK

(2)

プロトコル識別子
呼番号
メッセージ種別
メッセージ長

## RELEASE

(3)

プロトコル識別子
呼番号
メッセージ種別
メッセージ長
理由表示

## RELEASE-COMP

(4)

プロトコル識別子
呼番号
メッセージ種別
メッセージ長
理由表示

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 音声通信のシグナリング制御時に必要な、電話交換機又は音声端末装置のインターネットにおける接続制御に関し、相手先の電話交換機又は音声端末装置から送出される呼出し中信号、ビジー信号等を発信者に送出できるようにする。

【解決手段】 音声系装置を接続する音声回線インターフェース部310と、ATM回線を接続する中継回線インターフェース部320と、音声回線インターフェース部310からの音声信号をセル化すると共に、中継回線インターフェース部320から受けたセルをデセル化して音声信号にするセル分解組立部313と、スイッチ型バーチャル・コネクション接続方式によって、ATM回線における通話路の接続切断制御を行うSVC制御部360と、SVC制御部360がATM回線における通話路の接続切断制御を行い、音声系装置を呼び出し状態にしたとき、ATMバス330を介して中継回線インターフェース部320と音声回線インターフェース部310とを接続状態にする主制御部340とを備える。

【選択図】 図2

出願人履歴情報

識別番号 [000153465]

1. 変更年月日 1990年 8月23日

[変更理由] 新規登録

住 所 福島県郡山市字船場向94番地  
氏 名 株式会社日立テレコムテクノロジー